

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	イラプション・パール	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.469	△RG	0.043	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：イラプション・パール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：コマンド

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工

箱出し状態

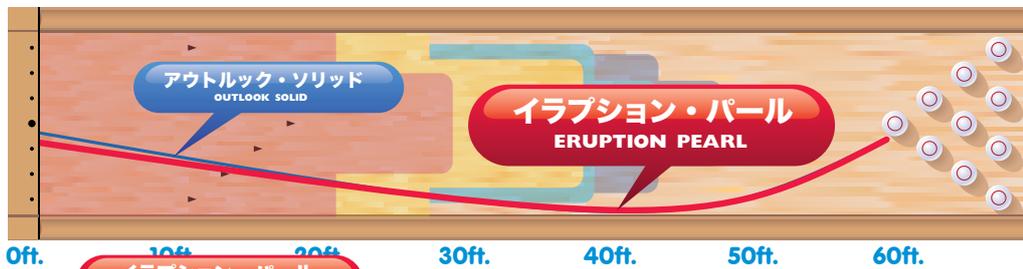
加工

ペーパー

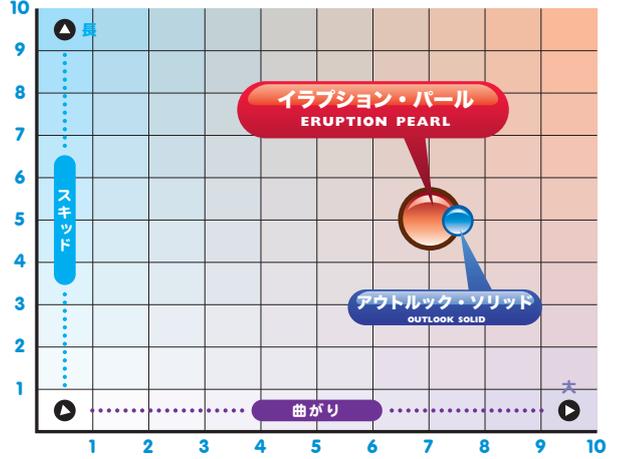
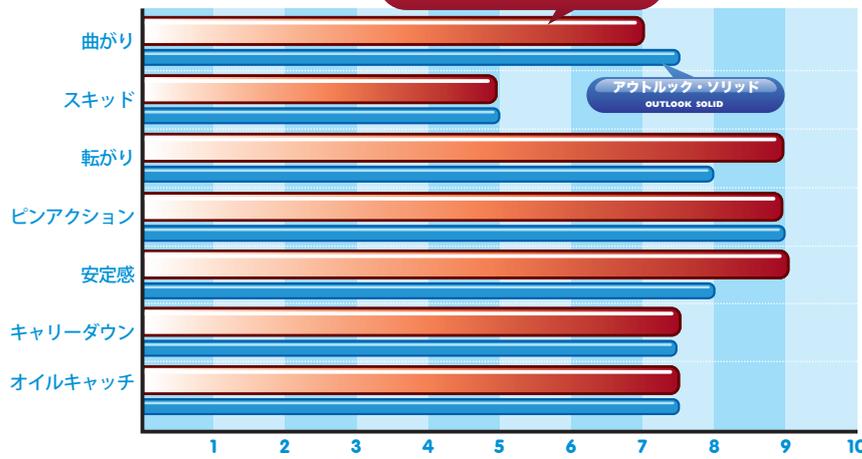
ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ERUPTIONと言えばEBI(EBONITE INTERNATIONAL)時代から定評があり、特に心臓部に収まっているResurgence Coreはとにかく転がりの良さが抜群で、それでいてバックエンドまで持続的に転がり続けるイメージは今でも鮮明です。当時から様々なカバーストックのボールを輩出してきましたが、どれも素晴らしく幅広いカバーストックに応用がきくものでした。今回、ブランズウィックマテリアルで復活を遂げ、Resurgence Coreのもつカバーストックを選ばない特異的な部分がまた新たな魅力を引き出し、今回、ERUPTION PEARLとして発売に至りました。

テストの第一印象は、なんとと言っても転がりの良さでした。EBI当時からERUPTIONの代名詞であった「転がり続ける持続性」はしっかり継承されていて、特に後半の転がりの良さは加速感さえ覚えます。そして一番の魅力はカバーストックとコアとのバランスの良さと言っても良いと思います。同等レベルのOUTLOOKと比較を行いました。Pearl素材ながら素材の上質さはキャッチとスキッドのレベルの高さに現れていますし、EBIから再調査されたReflexカバーストックはEBIとブランズウィック、二つの良い部分を掛け合わせたかと思えるほど、ミディアムコンディションで抜群のパフォーマンスを感じさせてくれます。私のテストドライブで数ゲームそれぞれのボールと比較投球しながら検証を行いました。ストライク率が7割を超えるほどピンキャリアは絶品で、ダイナミコアとResurgence Coreの転がり感が相乗効果で表れている結果であることは言うまでもありません。このようなボールはボウラータイプを選ばず、多くの方に気に入って頂けるのは間違いなく、現在毎月多くのボールが発売される中で、扱いやすさと転がりの良さ、ピンキャリアまでを期待してボール選びを考えている方は第一候補に挙げるべきでしょう。

特記事項

走りの中にも持続的なキャッチを伴い、ピンヒットまで持続的に転がり、「自分のボールがいつもより転がっている」と思ってしまうほどの転がりの良さ。フランチャイズのコンディションで高得点を見出せる、そんなボールです。